

第 49 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2013 年 11 月 7 日（木） 15：00～17：00

2. 場 所：東京理科大学 森戸記念館 2 階会議室

3. 出席者（役職／氏名順、敬称略）

	役職	氏名	所属	出欠
1	議長	三木 哲也	電子情報通信学会	出
2	副議長	檜山爲次郎	日本化学会	出
3	幹事	鶴原 稔也	電子情報通信学会	出
4		札野 順	日本工学教育協会	出
5	委員	林 克己	日本技術士会	出
6		宮越 直樹	日本原子力学会	出
7		酒井 祐之 (代理 森 正美)	電気学会	代理 出席
8		伊藤 東	安全工学会	出
9	オブザーバー	川上 理英	日本工学教育協会	出
10	事務局	木暮 賢司	日本工学会 事務局	出

4. 議題

- ① 前回議事録案の確認（技倫資料 49-3）
- ② 日本工学会技術倫理協議会第 9 回公開シンポジウムプログラムについて（技倫資料 49-4～6）
- ③ アンケート集計結果について（技倫資料 49-7）
- ④ 日本工学教育協会技術者倫理調査研究委員会 第 1 回国際ワークショップについて（技倫資料 49-8）
- ⑤ 会員活動報告（技倫資料 49-9）
- ⑥ 次回協議会の日程

5. 配布資料：

- 技倫資料 49-1：第 49 回技術倫理協議会 議題表
- 技倫資料 49-2：第 49 回技術倫理協議会 出欠表
- 技倫資料 49-3：第 48 回技術倫理協議会 議事録(案)
- 技倫資料 49-4：日本工学会技術倫理協議会第 9 回公開シンポジウムプログラム
- 技倫資料 49-5：作業分担等について
- 技倫資料 49-6：シンポジウム収支予定について
- 技倫資料 49-7：アンケート集計結果
- 技倫資料 49-8：日本工学教育協会技術者倫理調査研究委員会 第 1 回国際ワークショップ
- 技倫資料 49-9：第 49 回技術倫理協議会 会員活動報告.

6. 議 事

- ① 前回議事録案の確認（技倫資料 49-3，鶴原幹事）
 - ・原案通り確認した。
- ② 日本工学会技術倫理協議会第 9 回公開シンポジウムプログラムについて（技倫資料 49-4～6）
 およびアンケート集計結果について（技倫資料 49-7）（鶴原幹事）
 - ・「参加申込書」の申込期限を削除した修正版をホームページに掲載する。

- ・シンポジウムの実施報告書を1月理事会に報告する。(原稿作成は鶴原幹事)
- ・アンケート集計結果を日本工学会会員へシンポジウム報告と共にフィードバックする。

③作業分担等について(技倫資料49-5, 鶴原幹事)

- ・講師交通費支払いのために、講師に最寄駅を聞くと共に領収書持参をお願いする。(鶴原幹事)

④シンポジウム収支予定について(技倫資料49-6, 鶴原幹事)

- ・講師謝礼を修正する。

⑤会員活動報告(技倫資料49-9)

	学協会名	報告概要
1	安全工学会	<ul style="list-style-type: none"> ・安全工学会は化学産業に関連する産学官が会員で、約700名の小規模な組織で有り、現在は「技術倫理」の活動を行っていない。 ・最近多発した化学産業の事故に対応して、「官の規制」に加え、企業が「自主的に安全レベルの向上」を図るべく「保安力向上センター」を本年4月に発足させた。 ・各企業は自らの活動レベルを「技術基盤」と「安全文化」の185項目にて評価し、”持続的な安全レベル向上”を図って行く。 ・「安全文化」には”人間工学的”な側面に加え、”技術倫理的”な要素が不可欠である。 ・技術倫理協議会の成果を化学産業等の「安全文化」の向上に活用したいと考えている。
2	電気学会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「電気学会の技術者倫理教育の取組み」の報告 日工教オーガナイズセッション@新潟大学(H25.8.31) 2. 倫理綱領及び行動規範の英文化完成と周知(H25.10.2) 3. 薬業に関する倫理問題についての講演(H25.12.17) 梶山 佳伸氏(日本製薬工業協会 コード委員会 実務委員)
3	電子情報通信学会	<p>2013年12月14日(土)～15(日)に琉球大学にて、技術と社会・倫理(SITE)研究会を開催予定。</p> <p>情報処理学会のコンピュータと教育研究会および教育学習支援情報システム研究会と共催。</p> <p>32件の研究発表を予定している。</p>
4	土木学会	<p>土木技術者の倫理規定の見直しを倫理規定検討特別委員会(委員長:阪田憲次元会長)にて実施している。</p> <p>ほぼ素案ができた段階であり、今後は、学会内関係者へのヒアリングを経て改定案とし、来年の5月までに承認を得るスケジュールで進める予定である。</p> <p>「倫理綱領」+「行動規範」という、建築学会の規定と似た構成となる予定である。</p>
5	日本機械学会	<p>技術倫理委員会直属WG「機械系高等教育機関での技術倫理教育の体系化」を9月27日に開催した。</p> <p>①技術者倫理の目的</p>

		<p>②技術者倫理で教えること ③教育事例：「よい仕事」を探索するケーススタディ ④原発事故の採り上げ方 ⑤技術者倫理教育の評価方法 ⑥高等教育と企業教育における「技術倫理」教育 ⑦高等教育機関での教育と企業内教育の役割分担等 について討議を行った。</p>
6	日本技術士会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回技術者倫理ワークショップ（10/3、札幌）開催。 第一部：倫理活動報告（倫理委員会、開催地本部、特徴ある本部） 第二部：次世代技術者の倫理教育」をテーマとし2講演 『専門職倫理としての技術者倫理（新田孝彦氏）』 『技術士による技術者倫理教育の現場から（峯岸律子氏）』 参加者 84 名。 ・第2回倫理委員会（10/16）を開催し、3小委員会の2年間の活動計画案を議論し大枠を決定。 ・第6回技術者倫理シンポジウム（2014年5月予定）のテーマと講師検討中。
7	日本原子力学会	<p>東電福島第一原発事故を踏まえ、倫理規定を見直し、改訂作業を推進中。年内には作業を完了する予定。見直しの視点は</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）東電福島第一原発事故の反省 定款の変更を反映、学会のあり方に関するアンケート結果の反映 （2）倫理規定の網羅性とバランスの総点検 （3）ethics から Ethics（積極的な広義の倫理）への方向性を強調 （4）組織と個人の係わり合いを直視
8	日本工学教育協会	<ul style="list-style-type: none"> ・国際ワークショップ（11/23土）：海外から5名の関係者を招待して開催予定。 ・第14回ワークショップ「技術者倫理ーモデル授業の体験を通して学習・教育目標から技術者倫理教育を設計する」（11/24日）開催予定 ・倫理綱領改定パブリックコメント募集中（1/31締切）

⑥次回開催および平成26年度事業計画(案)について

- ・次回は2014年1月20日（月）15:00～17:00（東京理科大学森戸記念館2階会議室）とする。

（以上）